

関西の大学生が集結し、ファッションの環境問題を考える3日間

私たちのSDGs

2025 繊維製品の循環をめざして



9月 4日(木) 5日(金) 6日(土) 入場無料
11:00-20:00

BREEZÉ BREEZÉ 1階メディアコート

(JR大阪駅桜橋口・西口より徒歩4分、地下通路直結)

UPCYCLE LABO

WORK SHOP

学生による繊維廃材を使用したワークショップ

UPCYCLE EXHIBITION

学生による繊維廃材活用の提案

FASHION SHOW

廃材コレクション
9/5, 9/6
17:30~18:00

MUSIC LIVE

三木楽器(株)+FUBによる
廃材を使用した音楽ショー
9/5, 9/6
18:30~19:30

特別講演
13:00~14:30

9/4 前川善一郎氏(京都工芸繊維大学名誉教授)
「繊維は面白いー細くて長い形は人間の想像力を掻き立てる」

9/5 西沢智裕氏 (THE WOOLMARK COMPANY)
「メリノウールとオーストラリアのウールサプライチェーン」

9/6 長田華子氏(茨城大学人文科学部准教授)
「低価格の洋服と作り手、生産者の「今」
ー試される、私たちの向き合い方」

TALK SHOW

企業、参加学生によるトークショー

9/4 17:20-18:00 特別講義
木村照夫氏 (繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学・名誉教授)
「繊維製品のサーキュラーエコミーをめざして」

当日会場で衣料回収プロジェクトを行います
MEGURUFUKU PROJECT

繊維製品の廃棄から生まれる環境負荷の低減に向けて、関西で学ぶ大学生と研究者が連携し、結成したチーム「エンウィクル」による、繊維製品の循環をテーマにしたイベントを開催します。

【主催】(一社)日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会、エンウィクル私たちのSDGs実行委員会

【共催】(一社)日本繊維機械学会・フェロー会、NPO法人未利用資源事業化研究会

【後援】大阪府、大阪市、近畿経済産業局、大阪市教育委員会、(一社)日本繊維製品消費科学会、協同組合関西ファッション連合(KanFA)、京都市ごみ減量推進会議(公財)京都市環境保全活動推進協会、(一社)Textile Upcycle Platform、(一社)Textile Circular Network、ダイセン(繊維ニュース)、日報ビジネス株式会社(循環経済新聞)、織研新報社、京都工芸繊維大学繊維科学センター、(一財)ポーション品質評価機構

【参加大学】大阪樟蔭女子大学、関西大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都女子大学、甲南女子大学、神戸大学、滋賀大学、滋賀県立大学、四天王寺大学短期大学部、成安造形大学、立命館大学(順不同) ※参加大学や企業・団体は変更となる場合があります。当日時間やプログラムが変更になる場合もあります。詳しくはSNS等をご覧ください。

